



|       | 11月   |       |       |        | 12月   |       |       |        |
|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|
|       | 最高気温  | 最低気温  | 平均気温  | 雨量(mm) | 最高気温  | 最低気温  | 平均気温  | 雨量(mm) |
| 本年    | 24.5  | 18.0  | 21.3  | 30.5   | 21.1  | 15.1  | 18.3  | 84.5   |
| 平年    | 24.4  | 18.6  | 21.5  | 107.4  | 20.4  | 14.8  | 17.6  | 115.6  |
| 平年との差 | + 0.1 | - 0.6 | - 0.2 | -76.9  | + 0.7 | + 0.3 | + 0.7 | -31.1  |

## 年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年度は糖蜜出荷遅延により4日間の操業停止で生産者の皆さまには、大変ご迷惑をお掛け致しました。また、今年年内操業に於いても工場工程トラブルにより搬入量調整で対応させていただきました。併せてお詫び申し上げます。

さて、新年明けて早々の能登半島地震、航空機事故と波乱の幕開けとなり、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。糖業関係に於いても南西糖業の発電機故障、南栄糖業精脱装置での死亡事故が発生しております。弊社も更に気を引き締め安全安定操業に努めてまいります。波乱の幕開けとなりましたが、今年は辰年であります。これからは、ただひたすら右肩上がりとなるものと信じています。

2023/2024年度の操業を12月13日より開始いたしました。収穫面積1,360ha、生産量73,000tを見込んでいます。年内処理量は工場トラブルにより、予定より2,565t減少し約3日遅れる事となっています。

品質につきましては、昨年同時期の平均買入糖度より0.39度上がり15.59度で過去最高となり、最高糖度は17.90度で28,686円/tとなっております。年内は株出の単収低下が見られましたが、廃耕予定圃場の収穫によるものと考えられますので今後の単収増加に期待しているところです。

工場品質に関しては、原料調整及びヤード残の増加と思われる品質低下が発生しています。また、圃場に荷札の付いていない早刈りの荷も見受けられます。生産者におかれましても昨年以上の新鮮原料搬入へのご協力のほどお願いいたします。

今年収穫面積1,360ha、生産量73,000tを維持できていますが、5年後には生産者戸数が470戸から350戸まで減少すると予測しています。喜界町の目標としている80,000t達成には、圃場の集約・集積による効率化と耕作放棄地の解消等が必要となります。沖縄県の南大東島ではすでに、圃場の集約・集積による効率化が実証されています。まずは、関係機関からの情報に耳を傾けていただき、5年後、10年後のさとうきび産業の未来について考え、知恵を出し合い繋げていきたいと考えています。

最後になりますが、何より優先されるのは安全です。安全第一での刈取り作業、運搬作業をお願いいたします。

全ての関係者が無事故で操業を終え、来期の生産量アップに向け知恵を出し合いながら豊かな喜界島を作っていきましょう。  
本年もよろしくお願いいたします。

生和糖業株式会社

取締役工場長 山倉 正和



皆さま、日頃のさとうきび栽培、圃場での作業、お疲れ様です。

今年度も1,300haを超える収穫面積を確保していただいておりますが、農家戸数の減少に歯止めが掛からない状況です。このままでは5年後には360農家を割ってしまい、収穫量は6万トンに届かないのではないかと懸念しております。管理する圃場単位を広げながら、機械化を活用し農作業を分担し効率よく圃場管理・適期植付をするしかないと考えてますが、皆さまいかがでしょう？

さとうきび産業を守るために交付金という形で、喜界島に年間10数億円近く頂ける仕組みである「糖価調整制度」は限界にきております。600億円近い赤字を抱え込んでおり、島の皆さま方の英知を集めて、今アクションを起こさなければ島のさとうきび産業が立ちいかなくなってしまいます。島の明るい未来のために・次世代の島民のために・さとうきび産業を守るために、私ども生和糖業も、喜界島と運命共同体でありますので、いろいろとアイデア等を出して参ります。一緒に知恵を出し合い、行動していきましょう。

最後に皆さまにお願いがあります。

刈取りから工場に入るまでの時間が長くなりますと、糖分が分解され、丹精こめて育てたさとうきびの品質を劣化させてしまいます。そのためには、JA方の指示に従い、割り当てを必ず守っていただきたくお願いいたします。

さとうきび生産者、関係者の皆さまにおかれましても  
さとうきび刈取り、搬入に際して安全作業、安全運転を心掛けて  
いただきますようお願いいたします。

生和糖業株式会社

代表取締役社長 田中 睦生

## 第65期製糖期始まりました！

12月13日(水) 生和糖業(株)にて関係機関の方々が参列するなか、さとうきび搬入の出発式を催すことができました。  
製糖終了までの操業を安全第一に心掛けてまいります！



## 今期の操業計画

|        |          |
|--------|----------|
| きび処理見込 | 73,000 t |
| 搬入圧搾開始 | 12月13日   |
| 搬入終了予定 | 3月27日    |
| 操業終了予定 | 3月30日    |
| 洗缶日予定  | 2月13日    |
|        | 14日      |
| 春植推進デー | 2月15日    |
| 春植推進デー | 3月4日     |
|        | 3月7日     |

洗缶・春植推進デーは天候等により変更する場合もあり  
それに伴い操業日程も変更があります。

生和糖業賞

令和 5年度喜界町糖業振興会総会  
は、書面での決議とし、書面表決書  
はすべての議案において過半数の賛  
成をもって可決されました。  
尚、生和糖業賞として令和 4/ 5  
年度産さとうきび出荷において表彰  
された生産者は右の通りです。

| 予 約 達 成 賞                        | 手刈高生産賞                        | トラッシュ低減部門                  | HV割当遵守部門            |
|----------------------------------|-------------------------------|----------------------------|---------------------|
| 搬入量が100トン以上で予約率が<br>100%に近かった生産者 | 手刈収穫(HV刈以外)で、搬入<br>実績が多かった生産者 | HV収穫委託者でトラッシュ率が<br>低かった生産者 | 割当を遵守したHV、組合        |
| 1位 (伊 砂)<br>玉岡 裕敏                | 1位 (志戸桶東)<br>東目 弥一            | 1位 (荒 木)<br>益田 辰也          | 1位 (前金久)<br>AKKファーム |
| 2位 (前金久)<br>上 督 操                | 2位 (中 間)<br>吉本 実              | 2位 (先 内)<br>永 昭弘           | 2位 (城 久)<br>前川寛HV   |
| 3位 (羽 里)<br>直 喜一郎                | 3位 (前金久)<br>三倉 禮嗣             | 3位 (前金久)<br>南島 孝徳          | 3位 (伊実久)<br>松本英徳HV  |

目指せ！  
単収アップ！

●さとうきび収穫後の管理●

さとうきびを収穫した後は、株出栽培をしますか？それとも畑を更新して  
春植や夏植をしますか？ 事前に決めて、早めに作業しましょう！



何のための作業？

立派なさとうきびを育てるためだよ。  
管理の一つ一つに意味があるんだよ。



株出栽培の場合（一例）

収穫

株揃え・根切り

肥料・農薬散布①

畝間の心土破碎

中耕

農薬散布②

(土壌処理型除草剤)

どんな効果があるの？

「株揃え」

バラバラに芽が出ると茎数や一茎重が減るので  
茎の切断位置を揃え、萌芽そろいを良くします。

収穫後、速やかに株揃えや根切りをすることで  
次の芽が生えてきやすくなります！

「根切り」

古い根を切ることで、新しい根の発生を促します。

「心土破碎」

水はけを改善し、根の張りを良くします。

「中耕」

固くなった畝間を耕すことで、水はけが良くなり  
土が砕かれ軟らかくなり作業がしやすくなります。

「堆肥散布・緑肥播種」

有機物を投入し土づくりをすると、肥料分が供給  
されるなど地力が増します。

春・夏植に更新する場合（一例）

収穫

耕起

(プラウ・プランソイラー) 等

碎土①

植付（春植の場合）

堆肥散布・緑肥播種  
(夏植の場合)

碎土② (すき込み)

植付（夏植の場合）

農薬散布

(土壌処理型除草剤)

喜界町さとうきび生産対策協議会から  
お知らせ

この度、喜界町さとうきび生産対策協議会の組織体制が変わりました。新組織では各地区に指  
導員を配置しております。各地区指導員を記載していますので、何かありましたら各指導員に  
お問い合わせください。

指導員  
役場 農業振興課糖業係  
さかえ たけみ なかやま まさふみ  
榮 岳海 中山 勝史  
☎ 65-3689

|       |      |           |
|-------|------|-----------|
| 湾地区   | 荒木地区 | 上嘉鉄地区     |
| 赤連 川嶺 | 荒木   | 上嘉鉄西 手久津久 |
| 湾 羽里  |      | 上嘉鉄中 先山   |
| 中里 山田 |      | 上嘉鉄東 浦原   |
| 池治    |      |           |

指導員  
生和糖業 原料係  
いわい たつや みね りょうすけ  
岩井 辰矢 嶺 亮介  
☎ 65-3133

|       |       |      |
|-------|-------|------|
| 小野津地区 | 坂嶺地区  | 滝川地区 |
| 前金久   | 中間 西目 | 城久   |
| 神宮    | 先内 坂嶺 | 滝川   |
|       | 中熊 伊砂 | 島中   |
|       | 大朝戸   |      |

指導員  
JAあまみ 糖業係  
うえた よしかず  
上田 嘉和  
☎ 65-2545

|      |        |       |
|------|--------|-------|
| 阿伝地区 | 早町地区   | 志戸桶地区 |
| 阿伝   | 伊実久 早町 | 志戸桶東  |
| 花良治  | 塩道 白水  | 志戸桶南  |
|      | 嘉鈍     | 佐手久   |

国の政策により、人・農地プランを法定化し、地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画を実現す  
べく、地域内外から農地の受け手を幅広く確保しつつ、農地バンクを活用した農地の集約化等を進めるため、基盤法等の改正法が令和  
5年4月1日に施行された。  
現在、喜界島においても農地の集約化や農地の利用等について、地域計画のもと各地域で話し合いが持たれている。  
本年度より10年後に誰がどの農地を耕作するか、圃場毎に色塗りをして区域分けをする「目標地図」を作成するので、皆さんも話し合  
いに参加して「将来、地域の農地を誰が利用し、農地をどうまとめていくのか」意見を述べてはどうだろうか。